

## 22 絵てがみ描いてお茶しませんか！

### 【き】子どもたちの成長を支え、見守りたい

代表が、民生委員児童委員などの活動で、虐待を受けた子どもたちや、その家庭とのかかわりを持ちました。子育て中の親を地域から孤立、孤独にさせないように、被災者支援活動から学んだことを、平成13年から、子どもたちの成長を支え、見守る活動に取り組んでいます。

### 【概】絵てがみで楽しい時間を過ごしています

姫路の児童擁護施設「広畑学園」で、毎月1回入所児童を対象に「ふれあい絵てがみ教室」を開催しています。子どもたちが季節の野菜、果物などを画材に絵てがみを描き、描いた画材を食べながらおしゃべりとミニ作品展をします。みんなほめ上手です。

また、絵てがみ以外にも、子どもたちがいきいきと自然を通して新しいことに取り組む「場」を提供しています。

### 【成】子どもたちの心の成長

子どもたちの心の成長が見えるのが一番の成果です。「ありがとう」と描いてある絵てがみを見たときには、本当に感動しました。また、成長しているのは子どもたちだけではありません。我々スタッフや、活動を手伝ってくれるボランティアも、子どもたちとふれあい、支えあいながら成長しているのです。

### 【夢】地域の人たちに施設の現状を知ってほしい

学園の外で子どもたちの作品展をして、地域の人たちに施設の情報を発信していきたいと考えています。児童養護施設とは、やむを得ない事情で家庭での生活が困難な児童や、その他環境上擁護を要する児童が生活する施設のことです。そういうと、暗いイメージを持たれる方が多いですが、子どもたちは本当にいきいきと暮らしています。そういう本当のところを分かってほしい。

これまで、施設もそれを支える行政も、地域への情報発信を怠ってきました。地域の人たちが気軽に訪れてくれる場になればいいなと思っています。いつでも見学に来てください。



絵てがみ

#### 姫路こころのケア ネットワーク

代表者氏名：岸岡孝昭  
活動地域：姫路市・龍野市・神戸市  
事務所等：姫路市青山南3-12-15  
電話番号：0792-66-3529  
FAX番号：0792-66-3529

ともに取り  
組んだ団体等

学生ボランティア

「プラザ5」「まち・コミ」

専門学校、県立新宮高校人間環境科の生徒が手伝いに来てくださいます。また、活動を通じてつながりができた、神戸市長田区でまちづくりを支援しているグループとも協働しています。



## ボランティアは継続を前提に

私たちは、「ふれあい絵てがみ教室」をはじめ、「わくわく子育てセミナー」「わくわく子育て応援団」などの子育て支援活動を定期的を開催しています。継続活動から、見えるものが多数あり、支援者である私たちが、元気をいただき、成長しています。不思議な魅力を感じつつ楽しく活動しています。



## 助成金は100発100中！実績を積んでアピール

これまでの活動の中で、子ども夢基金、麒麟福祉財団、福祉医療機構、毎日新聞厚生事業団、朝日新聞厚生事業団など、民間の助成団体に何度か申請していますが、すべて通っています。

コツは、人がやっていないこと、新しいことをやること、そしてそれを申請書の中でしっかりアピールするということです。

また、もう1つ重要なことは、申請する前に少なくとも2～3年の実績を積むということです。どんなに素晴らしい事業でも、実績がないと通りにくいようです。



## たくさんのメリットがある絵てがみを活用

仮設住宅でボランティアをやっていたとき、声をかけても入居者の方からの反応はなかなかありませんでした。代表の妻が趣味でやっていた絵てがみを通じて、少しずつ会話が増えていき、心を通わせることができたという経験がありました。

絵てがみの利点は、簡単に作れて、しかももらった人に喜んでもらえるということです。また、絵にはそれを描いた人の心の状態が表れるので、心のケアを図る上でも役に立ちます。

### 読者の皆さんへのメッセージ

子どもが好きで、長く活動を続けられる方、得意な分野でボランティアをしてみませんか？子どもたちがすてきな笑顔で出迎えてくれますよ！



絵てがみづくりに取り組むこどもたち